

三條南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



2011. 2. 21

No.1985
No.27



出席率	会員50名中38名
先々週の出席率	95.65%
先週の メークアップ	2/17 三條東R Cへ 星野健司君 嘉瀬 修君 永桶俊一君 野島廣一郎君 佐々木常行君 佐藤嘉男君
	2/19 財団法人(上越)へ 安達 裕君 熊倉高志君 野崎正明君 田代徳太郎君



会長挨拶

三條南ロータリークラブ 会長
大溪 秀夫

皆さん、こんにちは。

2月も中旬を過ぎ、もう少しで3月になります。3月になりますと、本当にもうすぐ春だなあと感じるようになります。この1月は大雪で寒かったせいか、一段と待ち遠しい気持ちです。

本日は臓器移植についてお話したいと思います。2月15日付の新潟日報の夕刊に、国内初の心臓移植手術を実施した、和田寿郎元札幌医科大学教授が2月14日に亡くなった(88歳)と載っていました。和田元教授は1968年8月8日、北海道小樽市の海岸で溺れた大学生の男性(当時21歳)の心臓を心臓弁膜症で入院していた男性(当時18歳)に移植する、国内初の心臓移植手術を行いました。当時世界では30例目であり、センセーショナルな出来事であったと、私も記憶しておりました。残念ながら、移植手術を受けた男性は、同年10月29日に死亡しましたが、当時は特殊な医療であった臓器移植の是非を、技術面や倫理面で問う議論をもたらし、日本の臓器移植に大きな影響を与えました。事実、その後日本においては臓器移植(心臓)は認められず、重症な心臓病の人々は、海外へ行き、移植手術を受けるといふ、何か腑に落ちない状態が余儀なくされました。

約30年後の1997年によりやく臓器移植法が成立し、日本でも臓器移植が可能となりました。

本人の生前の意思確認(ドナーカード)、倫理委員会、厳密なる脳死判定などの基準を満たした、再開後の1例目の症例では、四国(高知医大)から大阪(府立循環器病センター)まで、心臓が運ばれる様子がテレビで生中継をされたことを思い出されます。こうして紆余曲折がありましたが、臓器移植法施行後、現在までの臓器提供は122例であります。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから—

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるか どうか



国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス [アメリカ]
第2560地区ガバナー 東山 昶也 [高田]
第4分区AG 蕪澤喜一郎 [三條南]
会長 大溪 秀夫
幹事 野崎 正明
S A A 平松 修之

事務局 〒955-8666 三條市旭町2-5-10

三條信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp

ここで脳死について話してみますと、
脳死の判定基準は（臓器移植法 2009年9月現在）

- ① 痛みなどの刺激に反応しない深い昏睡
- ② 自発呼吸の消失
- ③ 瞳孔が固定し、左右とも直径4mm以上
- ④ 脳幹反射の消失
- ⑤ 平坦な脳波
- ⑥ ①～⑤が6時間以上経過しても変化がないこと

この6項目を満たしていることであります。

また、心停止後の臓器提供者からは、腎臓、膵臓、眼球を移植に使うことができるのに対して、脳死の人からは、心臓、肺、肝臓、小腸、腎臓、膵臓、眼球を移植に用いることができます。昨年までは、臓器提供者は、「15歳以上の本人による書面での意思表示」と「家族の承諾」が必要でしたが、2009年7月13日に脳死を人の死とし、臓器の提供に年齢制限を無くした、「改正臓器移植法」が成立し、2010年7月から施行されています。ちなみに改正法施行後、本人意思不明のケースは33例行われています。

新潟県においては、この2月11日新潟大学で、家族の承諾の下、臓器提供が可能になってから、県内で初の腎移植が行われました。脳死下での心臓、肝臓などの臓器移植手術はされておりませんが、1997年の同法施行後、県内での脳死下腎移植は3例目であります。

心停止下の腎臓提供は増加傾向で、2002年以前の年0～2人から03年以降は3～4人になりました。しかし、県内において、今年1月時点での腎移植希望者は264人であり、希望者は「希望しても移植まで平均15年待たなければいけない状況」と話します。いずれ、再生医療の時代となるでしょうが、それまでは、まだまだ臓器移植は必要と思われる。

本日は、第17代会長 武藤昭三先生の卓話であります。有意義なお話が聞けるものと期待しております。よろしくお願いたします。

幹事報告



野崎 正明 幹事

東山ガバナー事務所より 3月ロータリーレートのご案内

3月1日より 現行と同じく 1ドル84円

三条北ロータリークラブより「市内7クラブ会長・幹事会」開催のご案内

日 時 4月12日（火） 18:30～

会 場 三条ロイヤルホテル

出席予定者 三条ライオンズ・三条中央ライオンズ・三条リバティライオンズ

市内4ロータリークラブ 会長、幹事

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

～ 2月21日 19,000円
今年度累計 521,000円

- 大 溪 君 だいぶ日も長くなって参りました。本日は、武藤先生の卓話です。よろしくお願いたします。
- 野 崎 君 武藤先生、本日は卓話宜しくお願致します。
- 吉 田 君 2日も春日和が続くと本当に春が来たように思うとは……。はかない願望か？
- 鈴木(武)君 春のきざし……！
- 佐藤(秀)君 武藤さん、卓話楽しみにしていました。BOXに協力します。
- 安 達 君 武藤先生、卓話ご苦勞様です。BOXに協力。
- 平 松 君 温故知新で卓話宜しくお願いたします。楽しみにしております。

- 鈴木(囧)君 本日の卓話、武藤先生ご苦勞様です。
- 佐々木君 武藤先生、卓話楽しみにしております。
- 野 中 君 武藤先生、ご苦勞様です。BOXに協力！
- 田 代 君 本日の卓話を楽しみにしています。
- 田 中 君 BOXへ。武藤先生のお話、楽しみにしています。
- 吉 井 君 武藤先生の卓話、楽しみにしております。ご苦勞様です。
- 荒 澤 君 武藤先生、ご苦勞様です。本日早退です。すみません！
- 熊倉君、坂本君、佐藤(嘉)君、銅冶君、馬場(一)君
BOXに協力致します。

温故知新

* 歴代会長卓話 IV

 第17代会長
 武藤 昭三 会員

「奉仕について = 自利利他 = 」



私は、17代会長を務めました。既に25年経ったようであり。RCは四大奉仕という大きな目標を掲げておりますので、役員理事と幾度も相談いたし、次のようなことを実践いたしました。列挙してみます。

- 第1. 三条市老人会の皆さんに集まっていただき、『老人はいかに生きるか』の題で、法華宗大本山本成寺貫首様のご講話を、三条市中央公民館大ホールでお聴きいたしました。
- 第2. 月岡養護学校の生徒さん達を下田村目黒栗園へバス数台でご案内し、秋空のもと、ロータリアンと一緒に過ごし、喜んでいただきました。
- 第3. 三条市老人会役員の方々に市内料亭二階に集まっていただき、老人会の問題点について懇談いたしました。

- 第4. アメリカ夏季交換留学生の受け入れをいたしました。
- 第5. 当クラブの例会のうち、夜例会をできるだけ多く開催いたしました。お蔭で当クラブの年間出席率が向上いたしました。
- 第6. シンガポール旅行をロータリアン多数といたしました。
- 第7. クラブ内各奉仕部門毎にファイヤーサイドミーティングをやっていただくよう奨励いたし、クラブ活性化に努めました。

以上、私の会長年度の実績を挙げてみました。



月ヶ岡養護学校の
子共達と目黒栗園へ



夏季交換学生



シンガポールの
小学生と



今年度のクラブのモットー『温故知新』は『温古知新』と書き変えてみますと、古くから言い伝えられて、クラブにとっても大切な真実なものとは何であるか、これを探求せよということ。『知新』とはクラブにとって新しい心、哲学とは何かを学ばねばならない、それによって明日のクラブを作って行こうということでないかと思えます。

私が副題にした『自利利他』は、奉仕するときの、こころがけるべきこととして考えていることでもあります。この「利」を「幸福」と置き変えております。自分の幸福は他の人の幸福となるとの気持ちで奉仕をしたいものであります。

歴史に残る1ページ:4人のロータリー先駆者たち

ユニティー・ビルディング711号室で誕生したロータリー



4人のロータリーの先駆者:
左より、ガスターバス・ローア、シルベスター・シール、
ハイラム E. ショーレー、ポール P. ハリス。

1905年2月23日、ポール P. ハリス、ガスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム E. ショーレーの4人が、ローアの事務所でロータリー初のクラブ例会を開きました。「仲間のあいだで友情を深めたい」というハリスの願いの下に集まったこれら4人の会合は、今日、親睦と奉仕を中心とした国際的組織へと発展しました。今回の「歴史に残る1ページ」では、これら4人のロータリー先駆者と、「第5のロータリアン」と呼ばれるハリー L. ラグルスについてご紹介します。

ロータリーの創始者、**ポール・ハリス**は、1868年4月19日、米国ウィスコンシン州で生まれました。バーモント州に住む父方の祖父母に育てられ、バーモント大学プリンストン校およびアイオワ大学で学問を修めました。

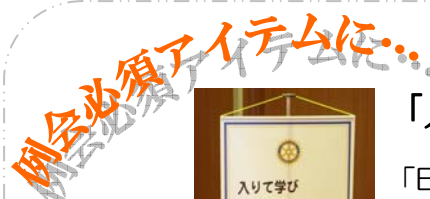
1910年から1912年にかけてロータリー会長を務め、1947年1月27日に他界するまで、シカゴ・ロータリー・クラブの会員でした。ロータリー創始者についての詳細は、[ポール・ハリスの生涯](#)をお読みください。

鉱山技師であった**ガスターバス・ローア**は、1864年10月18日、イリノイ州カーリンビルで生まれました。ロータリアンだった期間はわずか数年で、クラブでも国際レベルでも役職に就くことはありませんでしたが、当時の彼の事務所であったシカゴ中心部のユニティー・ビル711号室で、ロータリー初の例会が行われました。ローアは1918年5月23日、シカゴにて他界しました。

ロータリアンとして数年間活躍した**ハイラム E. ショーレー**は、1862年6月にメイン州で生まれました。クラブの初年度には、書記係を担当しました。ショーレーは、1944年3月に亡くなりました。

石炭商であった**シルベスター・シール**は、1870年、インディアナ州テレホートで生まれました。1905年にシカゴ・クラブの会長を、また1945年に国際ロータリー3代目となる財務長を務めたシールは、テレホート・ビジネス・カレッジで学び、米西戦争時には米国陸軍に勤めました。また、1902年から1939年にかけては、シール石炭商社の会長として活躍しました。ハリスと同じくシカゴ南部のサウスサイドに住み、ハリスの生涯の友となったシールは、1945年12月17日にその生涯を終え、マウント・ホープ墓地の、のちにハリスが眠ることとなる墓の近くに埋葬されました。

ミシガン州出身の**ハリー・ラグルス**は、イリノイ州エバンストンにあるノースウェスタン大学を卒業し、第2回目の例会からロータリーに加わりました。ロータリーで歌を歌うという習慣を最初に始めたラグルスは、会員初年度にシカゴ・クラブの会計を務め、1908-1910年度にはクラブ会長、1912-13年度にはロータリー理事を歴任しました。彼の印刷会社であるH.L. Ruggles & Co.によって、最初の「The National Rotarian (ザ・ナショナル・ロータリアン)」誌とロータリー歌集が出版されました。地元シカゴ・ロータリー・クラブに加え、7クラブの名誉会員であったラグルスは、1959年10月26日、その生涯に幕を下ろしました。



「入って学び 出でて奉仕せよ」 例会場入口掲示幕

「Enter to learn, go forth to serve」は、もともと米国ユタ州にあるブリガムヤング大学が標語として使っていたようですが、ロータリーでは1947年S. ケンドリック・ガーンジー氏が会長の時にR I テーマとされ、国際協議会での非公式標語として使い始めたもので、現在でも国際協議会で入口に掲げられているものです。

この度、三条RCと共同でこの掲示幕を求めました。
毎回例会時に入口で皆様をお迎えします・・・。

ロータリーの綱領

「ロータリーの綱領」原文

OBJECT OF ROTARY

The Object of Rotary is to encourage and foster the ideal of service as a basis of worthy enterprise and, in particular, to encourage and foster:

First. The development of acquaintance as an opportunity for service;

Second. High ethical standards in business and professions; the recognition of the worthiness of all useful occupations; and the dignifying of each Rotarian's occupation as an opportunity to serve society;

Third. The application of the ideal of service in each Rotarian's personal, business, and community life;

Fourth. The advancement of international understanding, goodwill, and peace through a world fellowship of business and professional persons united in the ideal of service.

「ロータリーの綱領」日本文

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある：

1. 奉仕の機会として、知り合いをひろめること；
2. 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；
あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；
そしてロータリアン各自が、業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位有らしめること；
3. ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活及び社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
4. 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

「ロータリーの綱領」意識文

どんな職業でも、“利益は奉仕に対するご褒美として与えられるものでなければならない”というのが、ロータリーでいう「奉仕の理想」である。だから、そういう理想を、さらに一層高めて、これを世界中に広げていくのが、私たち会員の目的であり、そのためには、特に次に述べる4つのことが大切である。

- (1) こういう奉仕の理想に賛成してくれる仲間をたくさん増やすこと。
- (2) だれから見ても道徳的に怪しまれることがないように、誠実に良心的な仕事をする；
職業上の取引は対等であって仕事の上下の差はない—いつもお互いに相手の立場を尊重し感謝すること；社会に奉仕するための職業なのだから、自分の職業は品位あるものでなければならない。
- (3) 私たち会員は個人的な日常生活でも、職場でも、また広く社会的な関係でも、常にみんなのためになるかどうかを考え、奉仕の精神で行動しなければならない。
- (4) こういう奉仕の理想を身に付けて、それぞれの仕事に精だしている世界中の人々と友達になり、相手の国のことも良く理解しあって、戦争のない平和な世界をつくること。



Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
		1 ◆北RC 「識字率 向上月間」 国際奉仕 委員会担当	2 ◆三条RC 卓話 菊池 渉 会員	3 ◆東RC 卓話 長岡技科大 教授 浅井 達夫 様	4	5
6 ㊦ ローターアクト 地区大会 10:00～ 於:VIP	7 ◆南RC クラブ・ フォーラム	8 ◆北RC 雑祭い例会 卓 18:30～ 於:魚長 ※記帳できます	9 ◆三条RC 卓話 三条北RC 小林繁男会長	10 ◆東RC 卓話 三条RC 樺山 仁 会長	11	12
13	14 ◆南RC 卓話 (株)マルト 長谷川工作所 副社長 長谷川直哉様	15 ◆北RC 卓話 三条RC 樺山 仁 会長	16 ◆三条RC 卓話 三条東RC 菅家敏彦会長	17 ◆東RC クラブ休会 ※記帳できます	18	19 ㊦ 会長エレクト 研修セミナー 10:00～ 於:ホテル イタリヤ軒
20	21 春分の日 ◆南RC 休 会	22 ◆北RC 「PETS報告」 星野義男 会長エレクト	23 ◆三条RC 「PETS報告」 山田富義 会長エレクト	24 ◆東RC 親睦夜例会 18:30～ 於:ロイヤル ※記帳できます	25	26
27	28 ◆南RC 温故知新・ 歴代会長卓話 野島廣一郎 第22代会長	29 ◆北RC クラブ休会 ※記帳できます	30 ◆三条RC クラブ休会 ※記帳できます	31 ◆東RC 「PETS報告」 石田大介 会長エレクト		

***近隣RC例会変更のお知らせ**

- 吉田RC 3月 4日(金) 創立 25 周年記念親睦旅行
- 加茂RC 10日(木) 夜例会
- 燕RC 17日(木) 職場訪問例会 24日(木)クラブ休会
- 31日(木) 友人招待例会

記帳場所

山岸会計事務所
加茂産業会館
燕三条ワシントンホテル
//

表紙について

池田 遙邨 いけだ ようそん(岡山県出身)
1895-1988

■「うしろ姿のしぐれてゆくか 山頭火」
1984(昭和59)年作
京都国立近代美術館蔵
ロータリーの友 1995年11月号表紙より

三条南ロータリークラブ週報

2011. 2.21

No.1985 No.27